

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

7月が終わり火の魂カンパニーも12期が終了し8月から第13期が始まりました。本来であれば、皆さんの前で1年の報告と来期の経営方針を発表し、経営の目的と目標を私が直接共有させて頂く重要な日ですが、楽しみにしている人も多いので非常に残念ではありますが開催をしないと判断しました。改めて12期も本当にありがとうございました。13期もどうぞ宜しくお願いいたします。※マスクをしながら暑い日が続きますので、水分補給はしっかりと行い、無理はせず体調管理優先で働いてください。

さて、今月の社長からの手紙は、12期の振り返りも込で書き綴ってみたいと思う。改めて振り返ると12期もコロナの対応に追われ、大変不自由な環境で仕事をする大変さを感じた人も多いと思います。最善を尽くしたつもりではありますが、細部を見れば経営者として至らなかった対応も数多くありました。

とは言え、このコロナ禍で得られた成長は計り知れません。去年、今年に入社した新入社員は社会が、いや世界が今世紀最大の経済危機の中で新社会人として働き始めたことを、どうか後ろ向きに捉えず、この世界が苦境に苦しむ今この瞬間を、成長の良い機会だと当事者意識を持ち前向きにチャレンジしてほしい。順境なときは誰でも楽しく充実しますが、人生で大切なことは、順境は結果であり、その順境を手に入れることは、逆境に当事者意識を持ち前向きに乗り越えた人だけに与えられる結果なのです。このコロナ禍の危機や逆境に対して、当事者意識を持ち「成長の良い機会だ！」と前向きにチャレンジした人や企業は必ずコロナが収束した時に大きな飛躍をすることになります。私が社員にいつも言う『人生の差』は、この考え方だけといっても過言ではありません。苦難・困難・障害や逆境が真の問題ではなく、この苦難・困難・障害や逆境を「どう捉えるか？」という自分自身の考え方が人生の差を作っていることを、どうか知ってほしい。そう考えることができた人には、このコロナ禍で新社会人として社会に出た事が、人生に何度も訪れない最大の成長のチャンスとして目の前にあり、皆平等に掴む権利がある。そう考えて行動を起こし好転させた人は、私と一緒に会社を創っていきこう。このコロナ禍に当事者意識を持ち本当に力を発揮してくれる人がいます。

---

何のためにコロナ禍の真っ只中で入社してきたのか？

それを「私が火の魂カンパニーを救うために」「私の力を発揮させるために」と考える貴方と共に火の魂カンパニーが理想とする未来を創りたい。

---

火の魂の歴史に、火の魂で生涯語り継がれる伝説を今この瞬間に貴方が創るのです。

今までの学んできたこと、今まで乗り越えてきたことを、今こそ発揮するとき、

「ALL WIN」という理念を掲げ、理念の理と利益の利を13期も追求していきます。人生で2度とない飛躍のチャンス、伝説の13期もどうぞ宜しくお願いいたします。